



Nature News

撮影：2023年9月13日～19日 網張の森



ナギナタコウジュ (シソ科)

花が花穂の片側だけにつき、花穂は弓なりで、“薙刀”の刃先を思わせます。また、中国の生薬“香薷”に似ることが名前の由来です。参考：山溪名前図鑑『野草の名前』

ミゾソバ (タデ科)

溝のような湿った場所に群生。花や姿が少しソバに似ることから“ミゾソバ”というのが名前の由来です。また、葉が牛の顔に似ることから“牛の顔”という別名もあります。

ビジターセンター隣の日帰り温泉館の前に咲いています。花と合わせて葉の形にも注目してみてください。参考・図の抜粋：山溪名前図鑑『野草の名前』



イヌトウバナ (シソ科)

ヤブマメ (マメ科)

タニソバ (タデ科)



イヌタデ(タデ科) 別名アカマンマ

葉に辛みがなく、役に立たないという意味からつけられたもので、ヤナギタデに対する名前です。小さな赤い花を赤飯に見立てて、“アカマンマ”と呼び、子どもがままごとに使います。

参考：山溪ハンディ図鑑1『野に咲く花』

オオカメノキの冬芽 (レンブクソウ科)

タムシバの冬芽 (モクレン科)

森の様子や花の咲いている場所、ハイキングコースについてお気軽にスタッフにお声がけ下さい。